

大曲市で開催 第16回秋田まごころ国体

国民体育大会

国民体育大会（現在の国民スポーツ大会）は、日本体育協会発案の全国規模の体育大会として昭和21（1946）年に始まった。第1回近畿大会以降は、都道府県持ち回り方式で毎年開催している。

第16回秋田まごころ国体（昭和36年）からは、同年に制定されたスポーツ振興法に基づく重要行事の一つとして位置づけられ、日本体育協会（現日本スポーツ協会）・文部省（現文部科学省）・開催都道府県の三者共催で行われている。



SCRAP BOOK（写真アルバム） 昭和36年

大曲市商工課が作成した写真アルバムの1頁。昭和36年に実施された秋田まごころ国体の大曲会場や旗リレーの様子を写真に収めたもの。

大曲市役所文書



国体関係綴 昭和36年

昭和36年に行われた秋田まごころ国体に関する中仙町役場の綴。中仙町は競技会場にはなかったが、県全体の事業に関わる協力や、国体旗リレーとマスゲームの実施については中仙町内でも行われた。

中仙町役場文書



事務報告 昭和36年度

昭和36年に実施された秋田まごころ国体の事務報告が掲載されている書類。第16回国民体育大会大曲市実行委員会が昭和34年から立ち上がり、準備を行っていたことがわかる。

大曲市役所文書



大曲市広報 第128号 昭和36年9月25日

大曲市役所行政刊行物



大曲市広報 第129号 昭和36年10月5日

大曲市役所行政刊行物



秋田まごころ国体 観戦する人々 昭和36年

井上一郎写真資料



秋田まごころ国体 ハンドボール競技 昭和36年

井上一郎写真資料



広報おおまがり 第130号

昭和36年10月30日

国体特集号。天皇・皇后両陛下の奉迎や、国体マスゲーム、各競技会場の様子などが掲載されている。大曲会場のイベントや競技が大いに盛り上がったことが、写真や文章から読み取れる。

大曲市役所行政刊行物